

『神の約束に生きる』 出エジプト記20章1～17節 2018.6.3 聖日礼拝説教より

『…もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら…あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。』

ヨハネの福音書 8:31～32

①自由への指針(ガラテヤ 5:13～15)…聖書は『あなたがたは自由を与えられるために召された』と語るが、十戒の「～するな」は不自由な響き？自分が正しいと信じる道を自由に歩めば良いと思うが、真理や幸福を真剣に求めて、カルトにはまる人々もある。正しく健全な人生はどこにあるのか？クリスチャンも、聖書を開き、「導いてください」と祈るが、自分の思うようにならないと、世と妥協することも…。罪の支配の影響は強く深い！どうすれば世の価値観・自己中心性から自由にされ、のびのび、正しく生きられるのか？その確かな道しるべのひとつが、『十戒』である！十戒には、創り主なる神と私たちの関係、創られた人間同士の健全な在り方が記される！ここに、罪と世の悪の支配からの自由への指針がある！

②自由への大切なルールと命令(創世記 1:26～28、2:7)…私たちが創られたのには2つの目的がある！第一は、神と人・創られた者同士が互いに愛し合うため！人が神と向き合わない時、生きる目的を失い、その使命(責任)も見失う(創世 2:7)！第二の目的は、「神の国」の建設！創り主を信じ、畏れ敬う夫婦から子供が生まれ、家族・親戚・町が誕生し、地上に、創り主を礼拝し、その恵みで結ばれ、平和に満ちた神の国(町)が増え広がるはずだった(創世 1:28)！その使命を果たすために絶対に必要な命令がある(創世 2:16～17)。つまり、「善悪の基準」は人にはなく、創り主にあり、「わたしから離れず、わたしに聴け」と！

③約束を守る喜び、楽しみ(出エジプト 20:6)…神との約束を守るのは、人にとって喜びであり、楽しみのはず。人は最初から「大人」として創られ、神と対話し、神の御心を確認・理解・尊重出来た。健全な人生は、神から離れず、その愛の交わりに生きてこそ(ヨハネ 14:23)！人が悪魔の誘惑に負けて神を裏切ったとき、神は、呪われた全地と人間を憐れみ、もう一度、神との約束に生き、神の使命に立ち返る道を、御子イエスによって開かれた！人は、律法(十戒)により、自分の欲望の深さ・醜さ・裁きの恐ろしさを知り、十字架の恵みに渴く。

★全てが移り変わり、健全な人生が見えなくなるとき、イエスこそ、罪の闇を照らし、信じる者を悪の支配から解放される！御顔を仰ぎ、御声を聞き、交わり、共に歩みつ、その御愛と平和で、世を照らす者としての使命を全うしたい！